



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 1 日

上場会社名 カシオ計算機株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 6952 URL <http://www.casio.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 樫尾 和雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経理・資金・IR担当 (氏名) 高木 明德 TEL (03) 5334 - 4852

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	449,402	0.6	24,052	27.8	20,409	26.9	10,884	35.9
19年3月期第3四半期	446,824	7.1	33,322	16.0	27,928	9.4	16,979	12.9
19年3月期	620,769		48,074		41,431		25,147	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	39.45	39.43
19年3月期第3四半期	62.95	60.87
19年3月期	92.67	90.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	477,485	236,783	47.6	824.01
19年3月期第3四半期	505,694	233,342	43.7	792.99
19年3月期	525,483	236,669	42.6	811.69

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	22,113	31,011	12,088	76,904
19年3月期第3四半期	24,098	32,405	14,300	104,589
19年3月期	35,949	37,679	28,713	97,239

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	614,300	1.0	37,200	22.6	31,000	25.2	17,500	30.4	63.42

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加に加え、個人消費や雇用情勢にも改善傾向が見られるなど、景気は緩やかな回復傾向で推移してまいりました。しかしながら世界経済は、原油・素材価格の高騰、米国のサブプライムローン問題の影響から、不安定な局面に入りました。

このような経営環境のもと、当グループは、企業価値の向上に向け、製品の高付加価値化と差別化を強力に推進・展開すると共に、資本効率の向上などの重点施策を推進し、企業体質の改善並びに経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期までの業績は、売上高は、4,494億円となりました。損益につきましては、営業利益240億円、経常利益204億円、四半期純利益は108億円となりました。

第3四半期3ヶ月間の業績といたしましては、売上高はデジタルカメラの技術を駆使した「EXILIMケータイ W53CA」と2.8インチワイドQVGA有機ELディスプレイを搭載した「Wooo(ウー)ケータイ W53H」など携帯電話が好調に推移し、1,551億円(前年同期比6.1%増)となりました。損益につきましては、電子辞書、電波時計、携帯電話を主体とする増収に伴う増益並びに市場ニーズを先取りした商品開発による利益率改善により、営業利益103億円(前年同期比1.8%増)、経常利益98億円(前年同期比29.6%増)、四半期純利益は54億円(前年同期比8.1%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は4,774億円となりました。純資産は2,367億円となり、自己資本比率は前期末の42.6%から5ポイント増加の47.6%となりました。また、有利子負債も前期末に比べ57億円減少し779億円となりました。

今後も引き続き事業資産の効率的運営により、安定的且つ強靱な財務体質への転換を図ってまいります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当グループは今後も独創的な商品開発、長期的視点に立った収益強化のための対策と経営・財務体質強化策を継続して推進し、経営の健全化に向け、各事業分野において積極的な諸施策を展開し、業績の伸長並びに経営体質の改善に取り組んでまいります。

現時点での平成20年3月期の業績見通しにつきましては、第4四半期に新商品を集中させるデジタルカメラに加え電子辞書、電波時計、携帯電話が好調に推移しており、カシオマイクロニクス(株)の業績修正の影響を吸収する見通しで全般的には予定通りの進捗状況となっています。

(注)業績見通しについて

為替水準は1US\$ = 110円、1ユーロ = 150円を想定しております。

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与える要素としては、当グループの事業をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする主要為替相場の変動、製品販売価格の大幅な変動などが考えられますが、これらに限られるものではありません。

4 . その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税効果会計については、簡便法を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5 . (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

科 目 \ 期 別	前 期 末 (19.3.31)	当 四 半 期 末 (19.12.31)	前 期 末 比 較 (印 減)	前 年 同 四 半 期 末 (18.12.31)
	百万円	百万円	百万円	百万円
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	(330,136)	(300,789)	(29,347)	(318,945)
現 金 及 び 預 金	52,768	50,950	1,818	54,545
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	126,117	109,720	16,397	94,620
有 価 証 券	36,305	26,322	9,983	36,419
た な 卸 資 産	65,857	68,079	2,222	79,097
そ の 他	50,458	47,315	3,143	55,771
貸 倒 引 当 金	1,369	1,597	228	1,507
固 定 資 産	(195,347)	(176,696)	(18,651)	(186,749)
有 形 固 定 資 産	(102,647)	(94,369)	(8,278)	(94,183)
建 物 及 び 構 築 物	34,400	32,930	1,470	30,192
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	17,192	14,675	2,517	12,896
土 地	37,326	37,263	63	37,460
そ の 他	13,729	9,501	4,228	13,635
無 形 固 定 資 産	19,223	21,196	1,973	18,553
投 資 そ の 他 の 資 産	(73,477)	(61,131)	(12,346)	(74,013)
投 資 有 価 証 券	51,511	42,669	8,842	51,763
そ の 他	22,218	18,673	3,545	22,561
貸 倒 引 当 金	252	211	41	311
資 産 合 計	525,483	477,485	47,998	505,694

科 目 \ 期 別	前 期 末 (19.3.31)	当 四 半 期 末 (19.12.31)	前 期 末 比 較 (印 減)	前 年 同 四 半 期 末 (18.12.31)
	百万円	百万円	百万円	百万円
(負 債 の 部)				
流 動 負 債	(227,562)	(178,391)	(49,171)	(210,368)
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	103,616	91,362	12,254	95,068
短 期 借 入 金	4,196	12,209	8,013	1,861
一 年 内 返 済 予 定 長 期 借 入 金	22,000	6,500	15,500	32,009
一 年 内 償 還 予 定 社 債	10,000		10,000	10,000
そ の 他	87,750	68,320	19,430	71,430
固 定 負 債	(61,252)	(62,311)	(1,059)	(61,984)
社 債	10,000	10,000		10,000
長 期 借 入 金	37,450	39,200	1,750	37,700
退 職 給 付 引 当 金	6,995	6,395	600	7,128
そ の 他	6,807	6,716	91	7,156
負 債 合 計	288,814	240,702	48,112	272,352
(純 資 産 の 部)				
株 主 資 本	(218,019)	(222,574)	(4,555)	(216,292)
資 本 金	48,592	48,592		48,592
資 本 剰 余 金	66,737	66,669	68	66,757
利 益 剰 余 金	109,654	114,192	4,538	101,487
自 己 株 式	6,964	6,879	85	544
評 価 ・ 換 算 差 額 等	(5,924)	(4,798)	(1,126)	(4,591)
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	8,615	7,289	1,326	7,520
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1,082	689	393	1,193
為 替 換 算 調 整 勘 定	1,609	1,802	193	1,736
少 数 株 主 持 分	12,726	9,411	3,315	12,459
純 資 産 合 計	236,669	236,783	114	233,342
負 債 純 資 産 合 計	525,483	477,485	47,998	505,694

(2) (要約)四半期連結損益計算書

科 目	前 年 同 四 半 期 (18.4.1～18.12.31)		当 四 半 期 (19.4.1～19.12.31)		比 較 増 減 (印 減)	前 期 (18.4.1～ 19.3.31)
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	百万円
売 上 高	446,824	100.0	449,402	100.0	2,578	620,769
売 上 原 価	311,833	69.8	326,846	72.7	15,013	436,548
売 上 総 利 益	134,991	30.2	122,556	27.3	12,435	184,221
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	101,669	22.7	98,504	21.9	3,165	136,147
営 業 利 益	33,322	7.5	24,052	5.4	9,270	48,074
営 業 外 収 益	3,014	0.7	3,606	0.8	592	4,420
営 業 外 費 用	8,408	1.9	7,249	1.7	1,159	11,063
経 常 利 益	27,928	6.3	20,409	4.5	7,519	41,431
特 別 利 益	1,120	0.2	597	0.1	523	2,202
特 別 損 失	1,330	0.3	2,481	0.5	1,151	2,250
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	27,718	6.2	18,525	4.1	9,193	41,383
法 人 税 等	9,745	2.2	8,504	1.9	1,241	14,983
少 数 株 主 利 益 ()	994	0.2	863	0.2	1,857	1,253
四 半 期 (当 期) 純 利 益	16,979	3.8	10,884	2.4	6,095	25,147

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	期 別	当 四 半 期 (19.4.1～19.12.31)	前 期 (18.4.1～19.3.31)
		百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益		18,525	41,383
減価償却費		24,916	31,613
売上債権の増減額		16,940	21,208
たな卸資産の増加額		2,179	7,652
仕入債務の増減額		12,116	10,076
法人税等の支払額		13,742	14,208
その他		10,231	4,055
営業活動によるキャッシュ・フロー		22,113	35,949
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		17,477	16,865
無形固定資産の取得による支出		13,632	17,942
投資有価証券の取得及び売却・償還		1,626	4,322
その他		1,528	1,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		31,011	37,679
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金純減少額		5,737	16,462
コマーシャルペーパーの発行による収入		10,000	
社債の償還による支出		10,000	
配当金の支払額		6,346	5,319
その他		5	6,932
財務活動によるキャッシュ・フロー		12,088	28,713
現金及び現金同等物に係る換算差額		651	2,450
現金及び現金同等物の減少額		20,335	27,993
現金及び現金同等物の期首残高		97,239	125,232
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		76,904	97,239

(注) 当連結会計年度より(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書の開示を行っておりますので、前年同四半期については記載しておりません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	エレクトロニクス機器事業	デバイスその他事業	計	消去又は社	連 結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	380,618	66,206	446,824		446,824
(2)セグメント間の内部売上高	560	25,077	25,637	(25,637)	
計	381,178	91,283	472,461	(25,637)	446,824
営業費用	344,200	91,232	435,432	(21,930)	413,502
営業利益 (又は営業損失)	36,978	51	37,029	(3,707)	33,322

当四半期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	エレクトロニクス機器事業	デバイスその他事業	計	消去又は社	連 結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	376,057	73,345	449,402		449,402
(2)セグメント間の内部売上高	280	19,483	19,763	(19,763)	
計	376,337	92,828	469,165	(19,763)	449,402
営業費用	345,816	95,351	441,167	(15,817)	425,350
営業利益 (又は営業損失)	30,521	(2,523)	27,998	(3,946)	24,052